

# 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

## 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
実施月日			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	202	54	51	4.8	13.4
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

## 2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
実施月日			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	199	65.2	48.4	48.5	54.2	51.3	5.9	6.5	15.7	4.2	8.0
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
9月3日	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9
2 年	学校	199	63.9	46.6	48.0	47.6	52.3	11.3	7.5	12.6	10.6	10.5
	大阪市	—	66.1	52.6	51.4	49.5	54.6	8.4	4.4	8.2	6.1	7.0
1月9日	大阪府	—	65.5	52.4	50.7	47.2	54.0	9.3	5.0	9.5	7.4	7.9
1 年	学校	211	57.9	46.9	57.8	54.3	57.8	8.2	8.0	7.2	5.2	5.4
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	5.5	7.4	3.8	4.9
1月9日	大阪府	—	58.5	—	49.8	—	61.5	9.4	—	8.8	—	5.8

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はB問題を選択 2年生の理科はB問題を選択

※ 3年生の理科はC問題を選択

## 3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
実施月日			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	186	101.1	99.6	140.9	96.4
10月18日	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
	207										
2 年 男 子	学校	26.30	30.17	43.07	52.14	73.26	-	8.14	194.60	18.11	40.36
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	79.76	-	8.08	194.64	19.84	41.10
	全 国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98	-	7.99	197.18	20.57	41.86
2 年 女 子	学校	19.69	22.98	39.33	43.88	48.89	-	9.41	158.58	11.18	42.49
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	52.98	-	9.01	167.01	12.04	47.51
	全 国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67	-	8.96	166.32	12.40	47.37

## 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

#### 【成果と課題】

〈国語〉「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して全国平均と比べて-2.8ポイントであった。「情報の扱い方に関する事項」に関して全国平均と比べて-1.9ポイントであった。「我が国の言語文化に関する事項」に関して全国平均と比べて-0.8ポイントであった。「話すこと・聞くこと」に関して全国平均と比べて-6.7ポイントであった。「書くこと」に関して全国平均と比べて-5.6ポイントであった。「読むこと」に関して全国平均と比べて-4ポイントであった。  
〈数学〉 全国平均に関して「数と式」に関して-0.8ポイントであった。全国平均に関して「図形」に関して0.5ポイントであった。全国平均に関して「関数」に関して-2.1ポイントであった。全国平均に関して「データの活用」に関して-4.1ポイントであった。

#### 【今後に向けて】

〈国語〉「国語の勉強は好きですか」という質問に対して肯定的な評価が19.7ポイント、「国語の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して肯定的な評価が10.2ポイント、「国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか」という質問に対して肯定的な評価が9.5ポイントなど生徒質問紙における国語に関するすべての項目で肯定的評価が全国平均を上回っていることから、国語を前向きに学習する状態は醸成されていると考える。この後、ICT機器をつかった反復学習などを家庭で行うなどの指導を行っていき、基礎・基本の確実な定着を図る。

〈数学〉「数学の勉強は好きですか」という質問に対して肯定的な評価が13.2ポイント、「数学の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して肯定的な評価が14.9ポイント、「数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」という質問に対して肯定的な評価が14.4ポイントなど生徒質問紙における数学に関するすべての項目で肯定的評価が全国平均を上回っていることから、数学を前向きに学習する状態は醸成されていると考える。この後、ICT機器をつかった反復学習などを家庭で行うなどの指導を行っていき、基礎・基本の確実な定着を図る。

○令和6年度中学生チャレンジテスト(3年)

#### 【成果と課題】

〈国語〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関して-0.2ポイントであった。「情報の扱い方に関する事項」に関して±0ポイントであった。「我が国の言語文化に関する事項」に関して-0.1ポイントであった。「話すこと・聞くこと」に関して-0.1ポイントであった。「書くこと」に関して-0.1ポイントであった。「読むこと」に関して-0.5ポイントであった。「知識・技能」に関して-0.2ポイントであった。「思考・判断・表現」に関して-0.3ポイントであった。「選択式」に関して-0.1ポイントであった。「短答式」に関して±0ポイントであった。「記述式」に関して-0.1ポイントであった。

〈社会〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「地理的分野」に関して-1.1ポイントであった。「歴史的分野」に関して-1ポイントであった。「知識・技能」に関して-1.4ポイントであった。「思考・判断・表現」に関して-0.6ポイントであった。「選択式」に関して-1.3ポイントであった。「短答式」に関して-0.4ポイントであった。「記述式」に関して-0.3ポイントであった。

〈数学〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「数と式」に関して±0ポイントであった。「図形」に関して-0.6ポイントであった。「関数」に関して+0.2ポイントであった。「データの活用」に関して-0.3ポイントであった。「知識・技能」に関して-0.1ポイントであった。「思考・判断・表現」に関して-0.5ポイントであった。「選択式」に関して-0.8ポイントであった。「短答式」に関して0.2ポイントであった。「記述式」に関して-0.1ポイントであった。

〈理科〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「エネルギー」に関して+0.9ポイントであった。「粒子」に関して+0.4ポイントであった。「生命」に関して-1.3ポイントであった。「地球」に関して+1.8ポイントであった。「知識・技能」に関して+1.4ポイントであった。「思考・判断・表現」に関して+0.6ポイントであった。「選択式」に関して+1.5ポイントであった。「短答式」に関して+0.6ポイントであった。「記述式」に関して+0.5ポイントであった。

〈英語〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「聞くこと」に関して-0.9ポイントであった。「読むこと」に関して-0.2ポイントであった。「書くこと」に関して-1.3ポイントであった。「知識・技能」に関して-1.9ポイントであった。「思考・判断・表現」に関して-0.5ポイントであった。「選択式」に関して-1.3ポイントであった。「記述式」に関して-1ポイントであった。

#### 【今後に向けて】

〈国語〉今回の結果から、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「思考・判断・表現」、「選択式」、「記述式」に関して課題があることがわかった。

〈社会〉今回の結果から、「地理的分野」、「知識・技能」、「選択式」に関して課題があることがわかった。

〈数学〉今回の結果から、「図形」、「思考・判断・表現」、「選択式」に関して課題があることがわかった。

〈理科〉今回の結果から、「生命」に関して課題があることがわかった。

〈英語〉今回の結果から、「書くこと」、「知識・技能」、「選択式」に関して課題があることがわかった。

## 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

○令和6年度中学生チャレンジテスト(2年)

#### 【成果と課題】

〈国語〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「言葉の特徴や使い方」について-1.01ポイントであり、「情報の扱い方」について-0.30ポイントであり、「我が国の言語文化」について-0.30ポイントであった。「話すこと・聞くこと」について-0.41ポイントであり、「書くこと」について-0.33ポイントであり、「読むこと」について+0.15ポイントであった。「知識・技能」について-1.18ポイントであり、「思考・判断・表現」について-0.59ポイントであった。「選択式」の問題について-1.08ポイントであり、「短答式」の問題について-0.85ポイントであり、「記述式」の問題について-0.07ポイントであった。

〈社会〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「地理的分野」について-3.64ポイントであり、「歴史的分野」について-2.16ポイントであった。「知識・技能」について-2.16ポイントであり、「思考・判断・表現」について-0.79ポイントであった。「選択式」の問題について-4.04ポイントであり、「短答式」の問題について-4.04ポイントであり、「記述式」の問題について-1.20ポイントであった。

〈数学〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「図形」について-1.83ポイントであり、「関数」について-1.03ポイントであり、「データの活用」について+0.23ポイントであった。「知識・技能」について-2.45ポイントであり、「思考・判断・表現」について-0.18ポイントであった。「選択式」の問題について、-1.15ポイントであり、「短答式」の問題について、-1.42ポイントであり、「記述式」の問題について-0.07ポイントであった。

〈理科〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「粒子」について+0.29ポイントであり、「生命」について+1.47ポイントであり、「地球」について-1.34ポイントであった。「知識・技能」について+0.49ポイントであり、「思考・判断・表現」について-0.06ポイントであった。選択式の問題について+0.27ポイントであり、短答式の問題について-0.85ポイントであり、記述式の問題について-0.07ポイントであった。

〈英語〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「聞くこと」について-1.00ポイントであり、「読むこと」について-0.43ポイントであり、「書くこと」について-0.33ポイントであった。「知識・技能」について-0.57ポイントであり、「思考・判断・表現」について-1.18ポイントであった。「選択式」の問題について-1.88ポイントであり、「短答式」の問題について+0.04ポイントであり、「記述式」の問題について+0.09ポイントであった。

#### 【今後に向けて】

〈国語〉今回の結果から、「言葉の特徴や使い方」、「話すこと・聞くこと」、「知識・技能」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈社会〉今回の結果から、「地理的分野」、「知識・技能」、「選択式」・「短答式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈数学〉今回の結果から、「図形」、「知識・技能」、「短答式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈理科〉今回の結果から、「地球」、「思考・判断・表現」、「短答式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈英語〉今回の結果から、「聞くこと」、「思考・判断・表現」、「選択式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

○令和6年度中学生チャレンジテスト 及び チャレンジテストプラス(1年)

#### 【成果と課題】

〈国語〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「言葉の特徴や使い方」について+0.4ポイントであり、「情報の扱い方」について-0.2ポイントであり、「我が国の言語文化」について-0.3ポイントであった。「話すこと・聞くこと」について-0.3ポイントであり、「書くこと」について-0.2ポイントであり、「読むこと」について-0.4ポイントであった。「知識・技能」について-1.2ポイントであり、「思考・判断・表現」について-0.6ポイントであった。「選択式」の問題について-1.1ポイントであり、「短答式」の問題について-0.8ポイントであり、「記述式」の問題について-0.1ポイントであった。

〈社会〉各分野において大阪市平均と比べて以下の結果であった。「基礎」について-9ポイントであり、「活用」について-1.7ポイントであった。「地理的分野」について-6ポイントであり、「歴史的分野」について-7.7ポイントであった。「知識・技能」について-8.4ポイントであり、「思考・判断・表現」について-3.8ポイントであった。「選択式」の問題について-5.5ポイントであり、「短答式」の問題について-11.8ポイントであり、「記述式」の問題について-6.2ポイントであった。

〈数学〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「数と式」について-0.5ポイント、「図形」について+0.1ポイント、「関数」について-0.2ポイントであった。「知識・技能」について-0.4ポイント、「思考・判断・表現」について-0.2ポイントであった。「選択式」の問題について-0.6ポイントであり、「短答式」の問題について-0.1ポイントであり、「記述式」の問題について+0.1ポイントであった。

〈理科〉各分野において大阪市平均と比べて以下の結果であった。「基礎」について-0.9ポイントであり、「活用」について-1.7ポイントであった。「粒子」について-2.3ポイントであり、「生命」について-0.2ポイントであった。「知識・技能」について+0.1ポイントであり、「思考・判断・表現」について-2ポイントであった。「選択式」の問題について-0.3ポイントであり、「短答式」の問題について-3.7ポイントであり、「記述式」について-0.7ポイントであった。

〈英語〉各分野において大阪府平均と比べて以下の結果であった。「聞くこと」について-0.8ポイント、「読むこと」について-2.8ポイント、「書くこと」について-0.9ポイントであった。「知識・技能」について-2.3ポイントであり、「思考・判断・表現」について-1.5ポイントであった。「選択式」の問題について-2.8ポイントであり、「短答式」の問題について-0.6ポイントであり、「記述式」の問題に-0.4ポイントであった。

#### 【今後に向けて】

〈国語〉今回の結果から、「我が国の言語文化」、「読むこと」、「選択式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈社会〉今回の結果から、「基礎」、「歴史的分野」、「知識・技能」、「短答式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈数学〉今回の結果から、「数と式」、「知識・技能」、「選択式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈理科〉今回の結果から、「活用」、「粒子」、「思考・判断・表現」、「短答式」の力を育成する取組が必要であることがわかった。

〈英語〉今回の結果から、の力を育成する取組が必要であることがわかった。



令和6年度 歌島中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○大阪市英語力調査(GTEC)において

【成果と課題 今後に向けて】

〈リーディング〉短い簡単な文章をいくつかの「意味のまとまり」ごとに区切りながら、返り読みをせずに英文を読み進める力については、次は、簡単な文章の大きな流れを理解するために、後戻りせずに1文1文をつないで文章の流れをつかみながら、全体のイメージを大きくとらえるワーク等をする必要がある。

〈リスニング〉なじみのある表現において必要な情報を聞き取る力はある程度ついてきている。次は、英文を聞いて「意味のまとまり」ごとに区切り、状況をイメージして全体の意味をとらえる力をつける必要があり、そのために、まとまりごとにポーズを置いて状況を思い浮かべたり、状況を表すイラストを選択するワークを行うなどして効果的にリスニングスキルを伸ばす必要がある。

〈ライティング〉基本的な英文をつなげて短い文章を書く力については、次は、文と文のつながりを意識して、ある程度長い文章を書く力をつける必要がある。文と文のつながりを生み出すために、接続詞などを使ってアイデアをつなげるワークなどを行うことで、効果的にライティングスキルを伸ばす必要がある。

〈スピーキング〉基本的な語や言い回しを使って、日常のやりとりにおいて単純な応答する力については、次は、より聞き手を意識しながら話す内容を増やし、複数の文で自分の考えを伝える力をつける必要がある。そのため、意見を述べる場合は、理由や具体例をつけ足すなど、内容を豊かにする練習をする必要がある。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【成果と課題】

＜男子＞上体起こし、反復横とびは、全国平均を超えたものの、握力、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、体力合計は全国平均を下回った。体力合計点の学校平均が40.36で対全国比は0.96であった(全国平均41.86)。「学校の運動部や地域のクラブ活動、地域のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ1日平均何分ぐらいで活動していますか。(学校の体育の授業を除く)＊活動時間の合計」の項目について60分未満の生徒の割合が15.6%と全国平均より高かった(全国平均9.2%)。

＜女子＞上体起こしは全国平均を超えたものの、握力、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、体力合計は全国平均を下回った。体力合計点の学校平均が42.49で対全国比は0.90であった(全国平均47.37)あった。「学校の運動部や地域のクラブ活動、地域のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ1日平均何分ぐらいで活動していますか。(学校の体育の授業を除く)＊活動時間の合計」の項目について60分未満の生徒の割合が28.2%と全国平均より高かった(全国平均21.4%)。

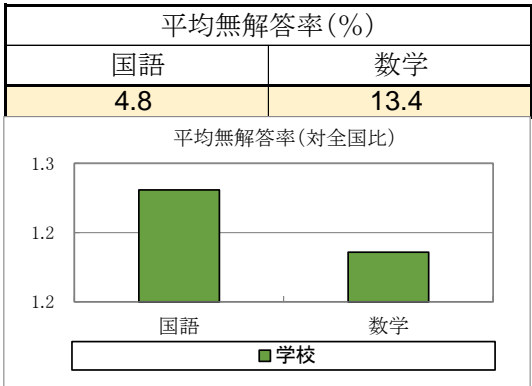
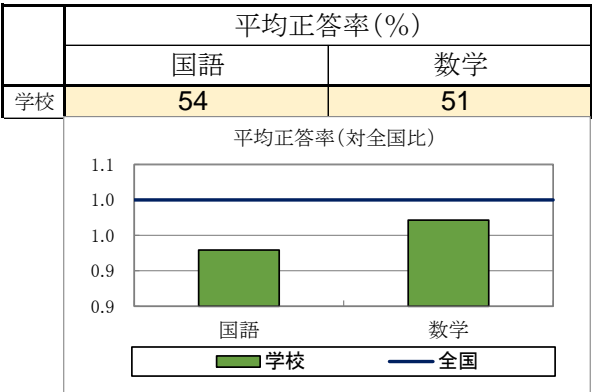
【今後に向けて】

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」という質問事項に肯定的に答えた生徒の割合が男子は87.7%、女子は72.2%でともに全国平均を下回った(男子全国平均90.6%、女子全国平均76.9%)ことから、まず、運動の楽しさを感じる取組を行った後、男女とも体力合計点が全国平均を下回ったことから、保健体育の授業を中心に基本的体力、運動能力の向上に向けてた取組を毎授業で行っていく。

令和6年度 歌島中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

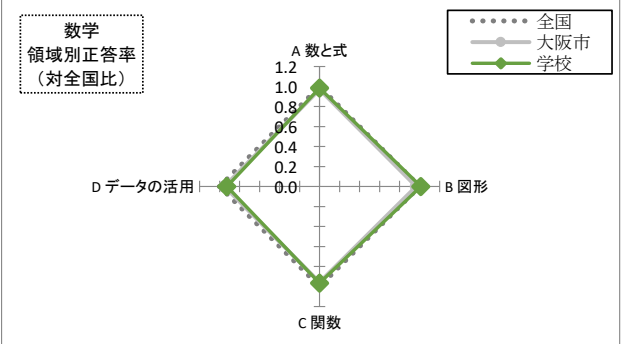
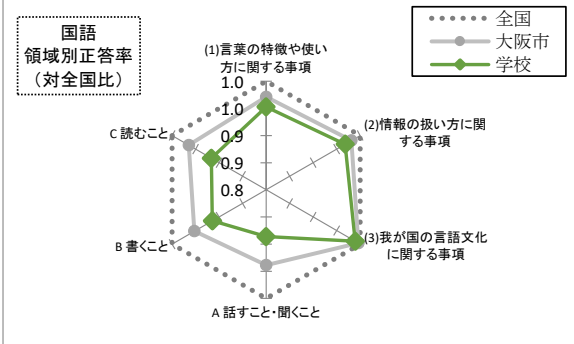
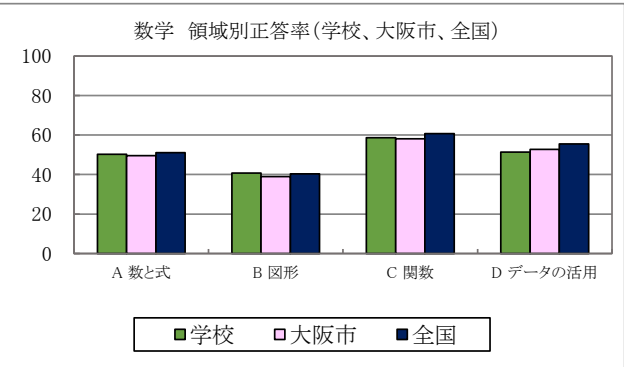
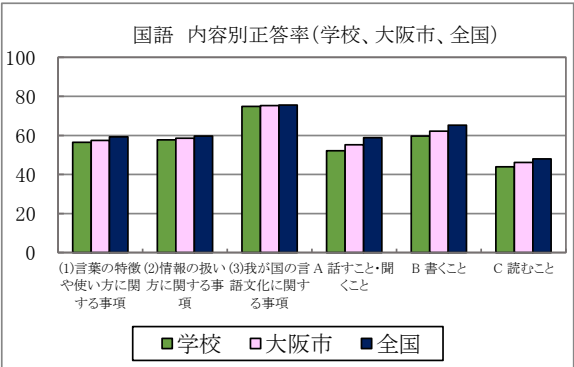


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	3	56.4	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	57.7	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	74.8	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	52.1	55.2	58.8
B 書くこと	2	59.7	62.2	65.3
C 読むこと	4	43.9	46.2	47.9

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	50.3	49.6	51.1
B 図形	3	40.8	38.9	40.3
C 関数	4	58.6	58.1	60.7
D データの活用	4	51.4	52.8	55.5



# 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

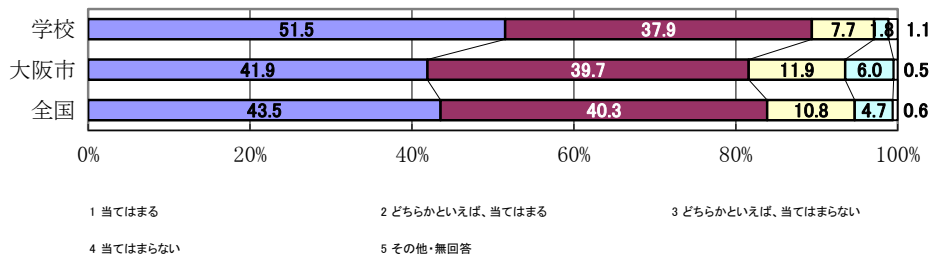
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

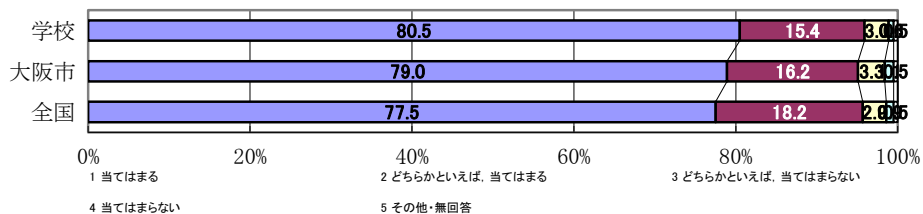
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



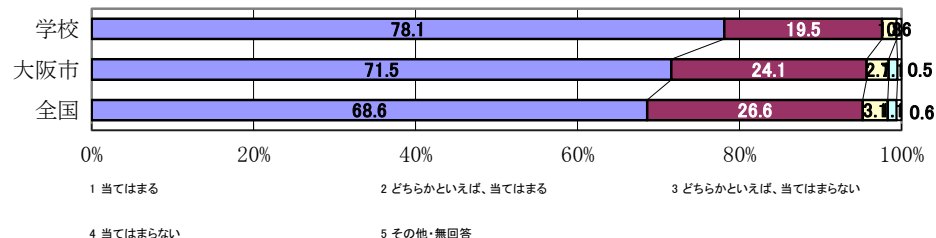
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



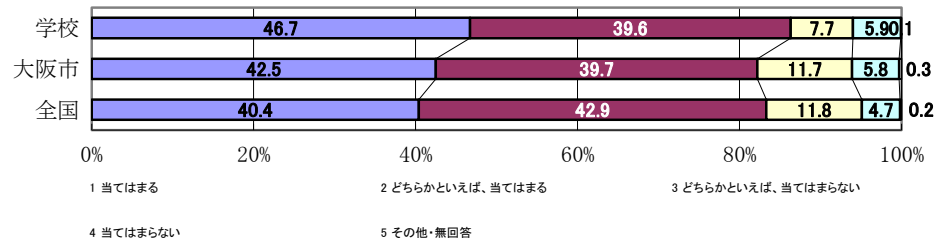
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



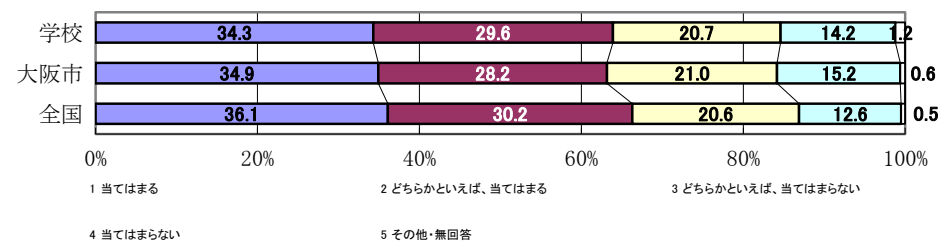
9

自分には、よいところがあると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



# 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

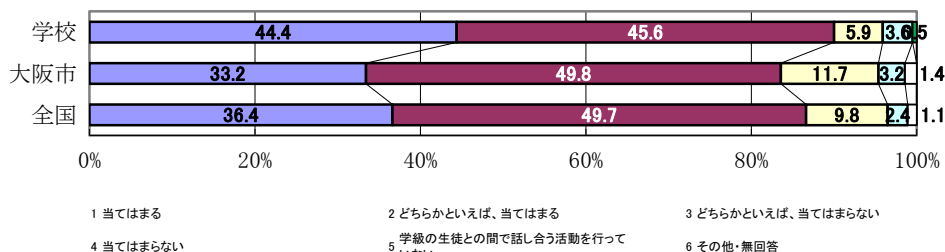
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

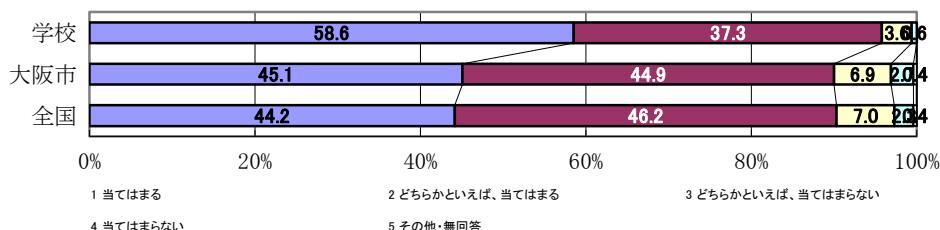
33

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



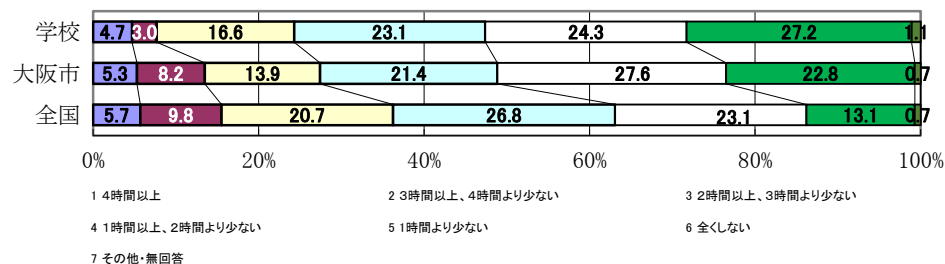
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



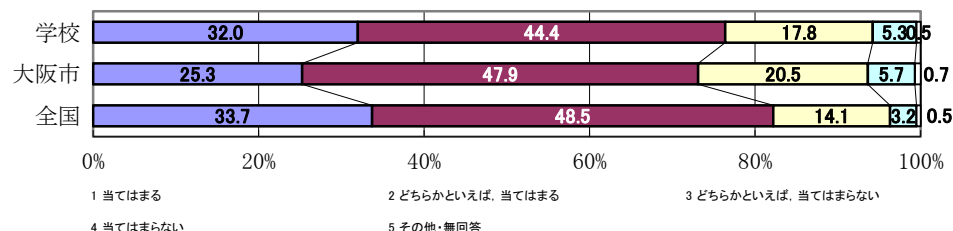
22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



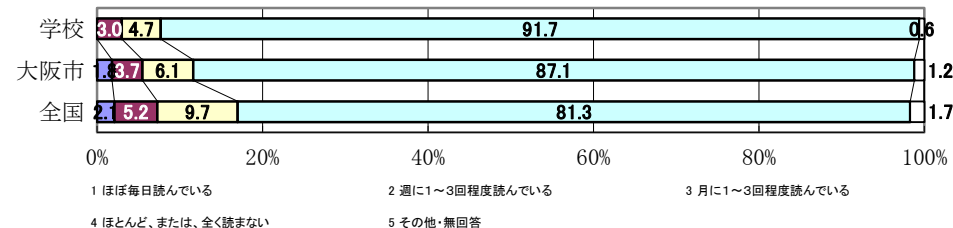
38

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



24

新聞を読んでいますか





# 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

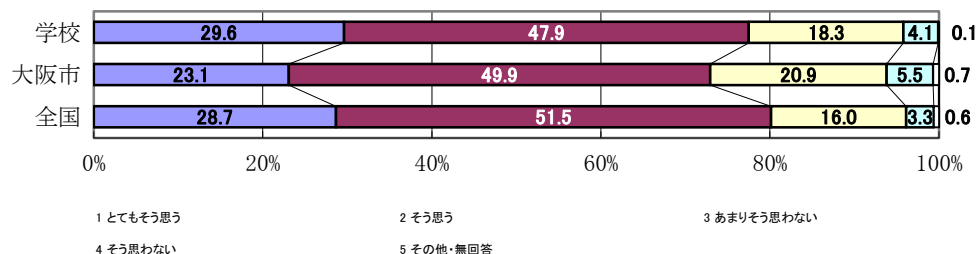
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

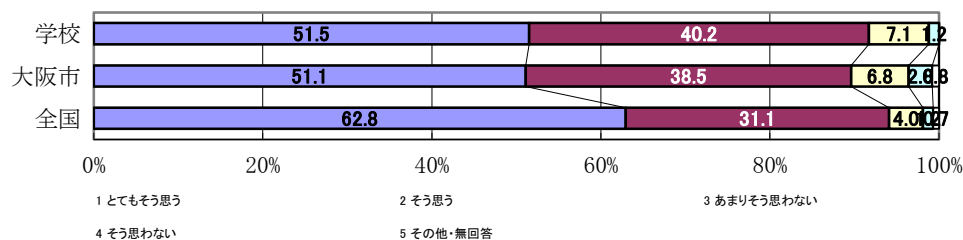
70

(1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



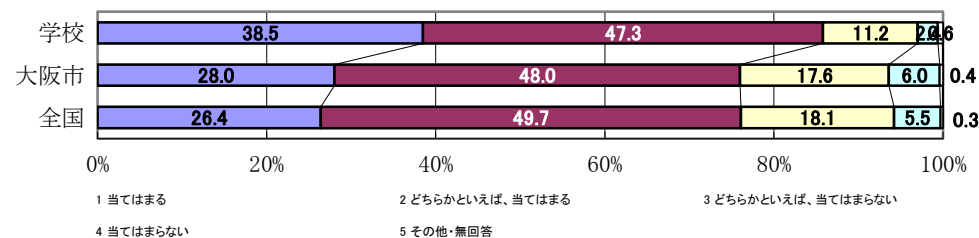
71

(1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる



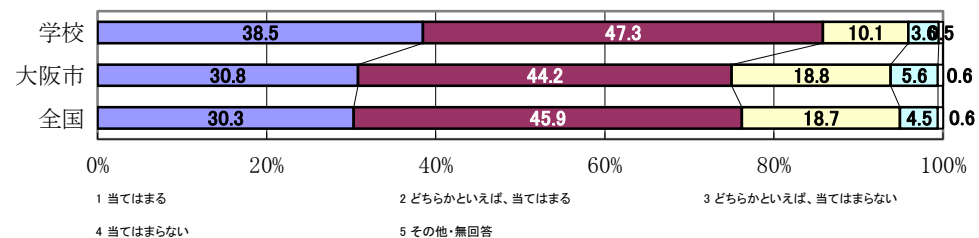
25

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



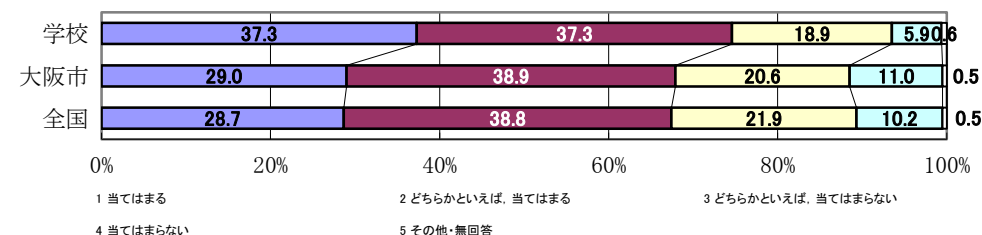
17

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



令和6年度 歌島中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

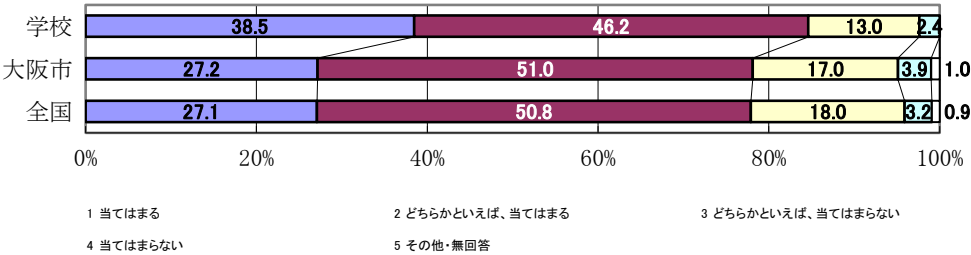
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

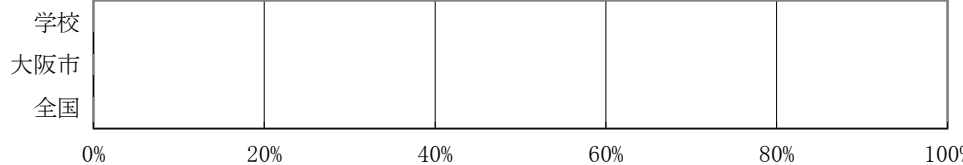
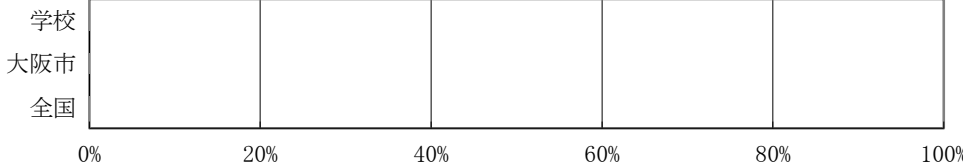
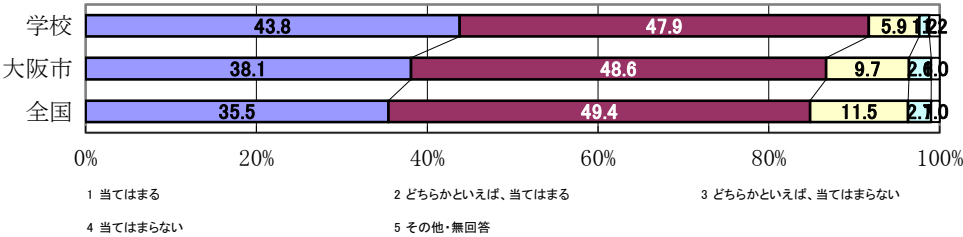
34

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか



36

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



# 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

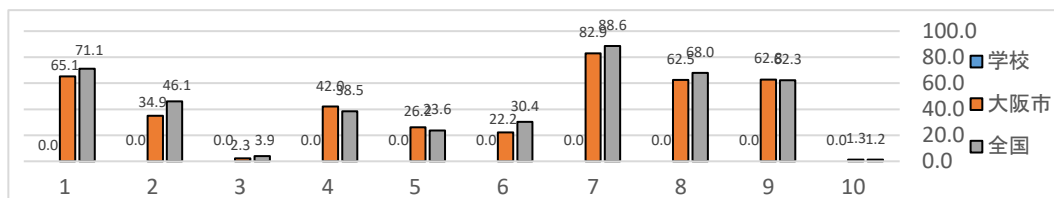
## 生徒質問より（26）

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何を  
して過ごすことが多い  
ですか(複数選択)



1 学校の部活動に参加している

2 家で勉強や読書をしている

地域の活動に参加している(地域学

3 校協働本部や地域住民などによる

学習・体験プログラムを含む)

6 スポーツ(スポーツに関する習い事

を含む)をしている

9 友達と遊んでいる

4 学習塾など学校や家以外の場所で

勉強している

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム

をしたり、SNSを利用したりしている

5 習い事(スポーツに関する習い事を

除く)をしている

8 家族と過ごしている

10 1～9に当てはまるものがない

# 令和6年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

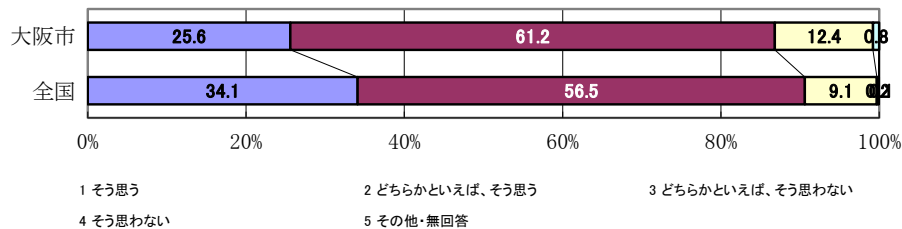
質問番号

質問事項

22

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか

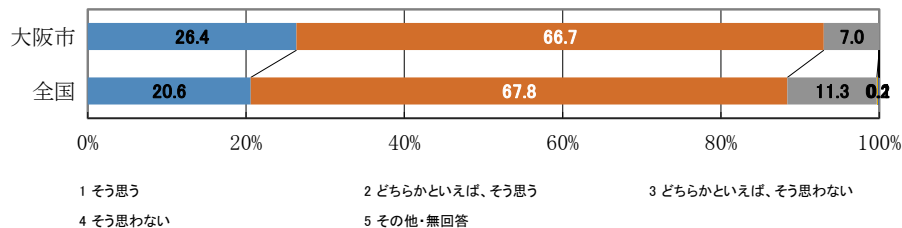
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

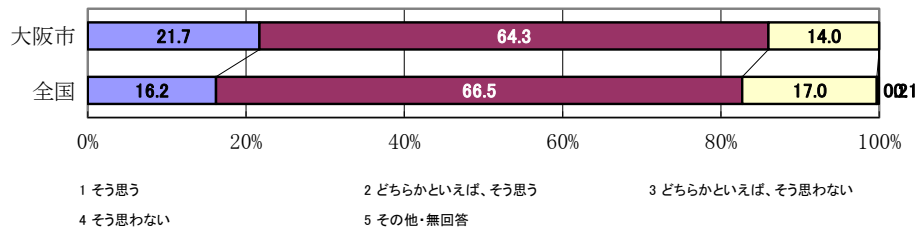
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

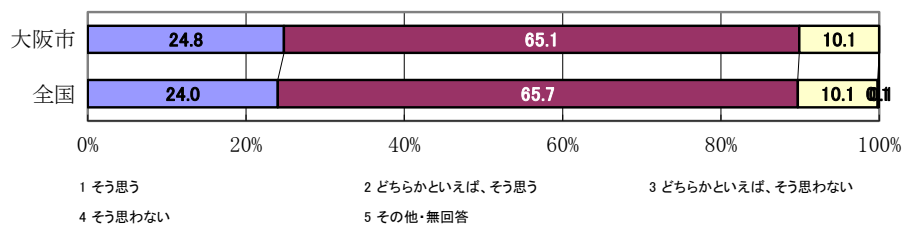
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

